令和7年度 福島中学校 シラバス

学年	3	教科	美術	担当	吉田いずみ	時数	35
----	---	----	----	----	-------	----	----

◆教科の目標

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これからを活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み、美術を主体的に生活や学習に生かそうとする力を育む。

◆評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【主】
趣旨	感性や想像力を働かせ、自分の見方や考え方、感じ方によって、美術と社会の関係、そこに機能する美術の役割について理解できる。また、表現の為に必要な知識や技術を習得し、効果を考え使用できる	感性や美的感覚を働かせて、創造する事の楽しさや深さを味わいながら、作品と自身、機能性と美しさの調和、社会などの関わりについて深く考えることができる。また、作品製作を通して、問題意識を持ち、表現方法を選択、工夫するなど、自己の課題に柔軟に対応しながら、表現することができる。	授業の内容を理解し、創造する事の楽しさや対象の美しさ、美術の持つよさに気付きながら、よりよい自己表現に向けて深く考え、粘り強く制作しようとしている。また、美術を通して芸術文化に親しむ事が出来るよう主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に参加し多面的に美術を捉え、取り組もうとしている。

◆年間指導計画

月	領域	単 元 名 【 時 間 】	学習活動	観点別評価の規準	評価方法
4月～7月	絵画	スクラッチアート 原画 11時間	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の参考作品を鑑賞する、 「教科書のQRコード、WEB検索」を鑑賞する、学んだ内容から、表現の構想を練り、課題に取り組む。 作品鑑賞会(1時間) 	<p>【知】(知識・技能)「何を理解しているか、何が出来るか」</p> <p>【思】(思考・判断・表現)「理解していること・できることをどう使うか」</p> <p>【主】(主体的に学習に取り組む態度)「粘り強い取組を行おうとしている」「自らの学習を調整しようとする」態度</p> <p>【知】学んだことを 水彩絵の具を使用し、表現をする技術が身についている。</p> <p>【思】創意工夫しながら取り組んでいる。</p> <p>【主】主体的に制作に取り組んでいる。 最後まで諦めずに主体的に取り組もうとしている。 生徒相互の観賞を通して作品の良さに気付き自分のさく品に生かそうとしている。</p>	<p>[知] ワークシート、定期テスト、作品提出</p> <p>[思] 観察、ワークシート、提出作品</p> <p>[主] 観察、ワークシート、提出作品</p>
8月		「夏休み自宅課題」	なし	「	
9月～12月	絵画	スクラッチアート 15時間	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の参考作品を鑑賞する、 「教科書のQRコード、WEB検索」を鑑賞する、学んだ内容から、表現の構想を練り、課題に取り組む。 作品鑑賞会(1時間) 	<p>【知】学んだことを ニードルを使用し、表現をする技術が身についている。</p> <p>【思】創意工夫しながら取り組んでいる。</p> <p>【主】主体的に制作に取り組んでいる。 最後まで諦めずに主体的に取り組もうとしている。 生徒相互の観賞を通して作品の良さに気付き自分のさく品に生かそうとしている。</p>	<p>[知] ワークシート、定期テスト、提出作品</p> <p>[思] 観察、ワークシート、提出作品</p> <p>[主] 観察、ワークシート、提出作品</p>
1月～3月	デザイン鑑賞	「うちわ」 「美術史 様式」 9時間	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の参考作品を鑑賞する、 「教科書のQRコード、WEB検索」を鑑賞する、学んだ内容から、表現の構想を練り、課題に取り組む。 作品鑑賞会(1時間) 日本や西洋の美術史や様式について学ぶ。 	<p>【知】学んだことを 水彩絵の具を使用し、表現をする技術が身についている。</p> <p>【思】創意工夫しながら取り組んでいる。</p> <p>【主】主体的に制作に取り組んでいる。 最後まで諦めずに主体的に取り組もうとしている。 生徒相互の観賞を通して作品の良さに気付き自分のさく品に生かそうとしている。</p>	<p>[知] 定期テスト、提出作品</p> <p>[思] 観察、提出作品</p> <p>[主] 観察、提出作品</p>